

# ビレジサポートの歩み VS発足の背景から今日の活動に至る歩みを振り返りました。

## ビレジサポートが誕生するまで

入居開始から30年目を迎えた2010年6月、柏ビレジ自治会は活性化委員会を発足させ、地域の魅力向上と住み良い街づくり実現に向けて、横断的・長期的な課題の取り組みを始めました。この時期、高齢化社会を研究課題に取り上げていた東京大学は、ビレジ商店街の空き店舗を実証実験の場として活用し、全世帯を対象にアンケートを実施しました。

この結果を基に、2012年3月に「楽しく生きがいのある街づくり」をテーマに、活性化委員会・東大共催のシンポジウムが開催され、80余名の住民が集まって活発な意見交換が行われました。その中で、生活支援の仕組み作りについて具体的な提案があり、2012年5月～8月に行われた「共に支え合う地域社会の在り方」のワークショップへと発展しました。ワークショップでは、米国ポストン

郊外のコミュニティや三鷹市の有償ボランティアによるコミュニティサービスの成功例が紹介され、これらのモデルを参考に、柏ビレジで住民参加型の支援事業を具体的にどう展開するか、5回にわたって熱心な議論が重ねられました。



2012年6月 はなみずきで行われたワークショップ

## 2012年11月 活動開始

ワークショップの参加者がコアとなり、地域の高齢化・過疎化に取り組む任意団体「ビレジリンク」を立ち上げました。活動の理念として、コミュニティに住む人たちが互いの知恵と体力を提供しあって、住みよい街づくりをするための5項目を掲げました。

- ◇ 小さなことから助け合い、困っている人にやさしい街
- ◇ 男性も女性も、老いも若きもふれあう街
- ◇ 子育てを助け合い、子供の見守りに熱心な街
- ◇ 気楽に挨拶が交わされ、オープンで清潔な街
- ◇ 人が集まり交流が出来る活気ある街

早速「助け合い活動」では、ゴミ出し、水遣り、雑草取り、買い物同行等のサービス提供を開始し、「庭木剪定」ではサービス開始に先立って剪定技術講習会（座学4回、実技2回）を行いました。

2013年1月、会の名称を「ビレジサポート」（VS）に改め、共に支え合うコミュニティサービスの提供者としての意志を明確にしました。2013年3月末の会員数は55名でした。

2013年6月1日、VS主催で「ふれあいイベント」を開催しました。活動を開始したばかりのVSをPRすると共に、子供たちを中心とした「世代を越えたふれあいの場」として大成功をおさめ、その後、近隣の

各団体を横断した「イベントサークル」による夏の「わいわいフェスタ」と暮の「ファミリークリスマス」開催へと発展しました。



2013年3月 剪定講習の実技実習



2013年5月 カーポート清掃作業



2013年6月1日 ふれあいイベントでデビューした焼きそば隊

## 2013年10月 NPO法人化

VSの運営が軌道に乗って活動が外部にも認知されるようになり、対外信用度の向上やNPO保険適用のメリット等を考慮してNPO法人化の準備を進め、2013年7月に設立総会を開催、2013年10月に千葉県から特定非営利活動法人の認定を受けました。その結果、外部からの受託事業も増加して、組織基盤の強化を進めることができました。

2014年1月、近隣の業者さんのご好意で中古軽トラックを譲って

いただきました。作業用機材や剪定ゴミの運搬に威力を発揮し、サービスの向上とユーザーの拡大につながると共に、イベントでの機材輸送等でも活躍してVSのマスコットになりました。初代軽トラックは2017年9月まで元気に働き続けて引退し、VSが積み立てた資金で調達した2代目に役目を譲りました。

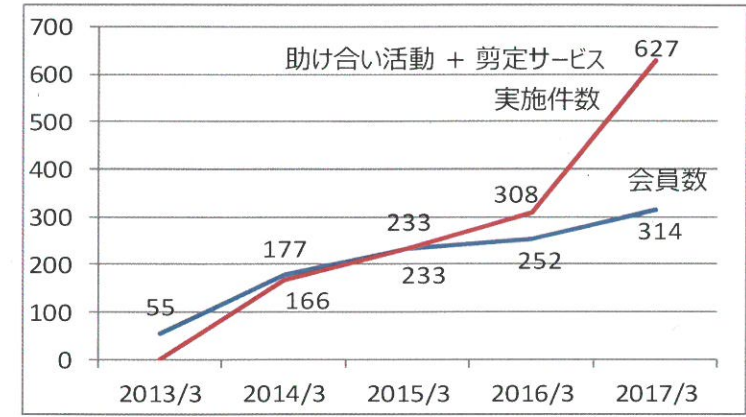


2014年1月 初代軽トラック入手

## 2016年4月「IVY-LABO」を拠点に活動拡大

2016年4月、活性化委員会が東京大学と連携して商店街に開設した「IVY-LABO」をビレジサポートが継承し、設立以来の念願だった常設の活動拠点とすると共に、コミュニティスペースとして近隣の皆様に利用いただくことにより、VSの活動理念をより実践的に展開する場所になりました。

おかげ様でVSの活動は、助け合い活動と剪定サービスの順調な伸びに加え、キャンパス地域でのさまざまな受託事業や、柏市から受託した緑道保全等も加わって、拡大と充実を続けています。これからもご支援をよろしくお願いいたします。



## 皆さまからの声

ビレジサポートを支援して下さっている方、サービスを利用されている方、活動に積極参加しているサービス協力者から、メッセージをいただきました。

### コミュニティーカフェ「はなみずき」より

昨年4月、VSが「IVY-LABO」の運営管理を開始、はなみずきにとっても「力強い隣人」を得ることとなりました。7月からは、IVY-LABOとはなみずきの共同運営で、柏市社会福祉協議会認定の「通いの場」事業を立ち上げ、協力関係は更に大きく進展しました。はなみずきの10年の活動の積み重ねと、VSも加わった新たな活動は、今では柏地区のモデルケースとして期待されていることは嬉しい限りです。

柏ビレジ商店街の一角から、これからもIVY-LABOとはなみずきのメッセージを発信し、誰もが笑顔で暮らし続けられるような街づくりを目指し、活動を続けていきましょう。

これからのVSの活動に期待し、更に大きく発展されますよう、心から応援しています。

ボランティア代表 中村のり子さん

### 剪定サービス技術顧問より

縁あって、VSが出来たばかりの2012年12月に庭木剪定講習会の講師を引き受けてから今日まで、剪定サービスの皆さんと一緒に仕事をしてきました。発足当初、中心メンバーが毎日のように集まって、Y部長を中心に体制作りや機材の調達に走り回り、自ら頭を下げて受けた剪定依頼に、作業服姿で汗だくになって作業している姿を見て、現役時代はそれなりの役職で、首から上しか使わなかった人たちが…、とある種の感動を覚えたのを記憶しています。

あれから5年、様々な問題をその都度克服しながら、年間100件を超えるまでに成長し、基本的な諸作業はほぼ出来るようになりましたが、剪定に終点はありません。いつまでも研鑽が必要です。今後も①チームワーク（不満な人を作らない）②日々前進（技術向上）③顧客満足度維持、を念頭に、常に初心に帰って精進しましょう。

剪定サービス部技術顧問 家中厚夫さん

## 利用者のお宅を訪ねて取材：助け合い活動

### ガーデニングを楽しむKさん 女性 70代（6支部）

高台のお宅の陽当りのよい南向きの庭に芝を植え、ダリア、ジニア、インパチェンス、風船唐綿、ハイビスカスなど、たくさんの種類の草木を育てておられますが、ご自分で美しく維持し続けることが体力的に難しく感じられるようになり、以前は生協の家事代行サービスを利用されていたそうです。

その後、VSの活動を知って、先ず旅行時の庭の水遣りサービスを試され、隣人らしい心こもった仕事ぶり、リーズナブルな料金に納得され、今では春の草取りに始まり、シーズン中は月に1回の除草と芝刈りを利用して、きれいなお庭を維持しておられます。

### フルタイムで働くSさん 女性 50代（2支部）

週日は忙しく働いておられるSさんは、お仕事のかかわりで、またご両親の高齢化もあり、コミュニティでの相互支援についてかねてから関



除草と芝の手入れの作業